



株式会社リンガーハット

証券コード:8200



株主・
投資家の
皆さまへ

リンガーハット 株主通信

Vol.23

〈第53期〉
2016年3月1日
▼
2017年2月28日





TOP
INTERVIEW

積極的な設備投資や職場環境の改善を進め、盤石な企業体質を構築してまいります

心、健康づくり」の取り組みにたえず磨きをかける一方、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、より強固な企業体質の構築と企業価値の向上に邁進しております。調理・サービスレベル向上施策やお客様のご要望を取り入れたメニュー施策を通じてQSC（クオリティー・サービス・クリンリネス）を高め、お客様満足度の向上を図ったこと、収益性の高いショッピングセンターへの新規出店等が引き続き奏功し、当期の増収増益に寄与しました。

以上の結果、当2017年2月期連結累計期間の売上高は438億44百万円（前連結会計年度比6.6%増）、営業利益は32億84百万円（同15.9%増）、経常利益は31億58百万円（同17.8%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は16億20百万円（同27.4%増）という増収増益を達成することができました。

Q 2016年度の業績についての振り返りをお願いします。

A 売上・利益とも順調に推移し、3期連続で過去最高の売上高と利益額を更新いたしました。

外食産業をめぐる経営環境につきましては、政府の経済・金融政策を背景にゆるやかな回復基調が続いていることや円高の影響もあり、足元では一部に明るさも見られる反面、深刻な人手不足に伴う人件費・採用費の高騰が利益を圧迫しており、依然として厳しい状況には変わりありません。また、消費者の節約志向が続き、個人消費が伸び悩む一方で、ライフスタイルの変化などから食嗜好の多様化はさらに進行。その結果、従来の業種・業態を越えた競争が激化しております。

こうした環境変化に適応するために、リングーハットグループでは、当社のブランド価値の根幹を成す、野菜の国産化をはじめとした「食の安全・安

改造、外販事業の強化を含む工場にかかる設備投資資金、ならびに今後の積極的な海外展開のためのグループ会社への投融資資金および借入金の返済資金を確保することにあります。とくに工場設備の増強や既存店舗の改修は、品質管理、衛生管理に直結する問題であり、手をこまねいてはいられません。海外出店の拡大につきましても、人口減少による国内外食市場の縮小が見込まれる中、強化すべき重要な経営戦略と位置づけております。また、当社では、長期にわたり当社株式を保有していただいている株主の皆さまのご支援に報いるとともに、より多くの株主さまに当社株式を長期保有していただくため、現行の優待に加え、保有期間に応じた長期保有優遇制度を導入することにいたしました。

Q 事業展開に関する、評価を。

A 長崎ちゃんぽん、とんかつの専門店として定番商品に磨きをかけると同時に、新しい提案で差別化を図っています。

今回の公募増資及び第三者割当増資により発行済株式総数は22,067,972株（2016年11月4日現在）から26,067,972株に、株主数は約2万6,000名から3万3,000名に増えました。資金調達の目的は、主力業態である「長崎ちゃんぽんリングーハット」および「とんかつ瀬かつ」における新規出店、既存店舗の改修・

「長崎ちゃんぽんリングーハット」では、4月より500円台のメニューとして「まぜ辛めん」を、夏には夏季限定で「冷やしちゃんぽん」を販売開始いたしました。開始時点では国内自給率わずか3%という希少な「国産のきくらげ」を使用した商品を全店舗に投入し、女性やファミリー層へ客層が広がりました。また、商品開発における新機軸として当期から導入

したエリアマーケティングにも、たしかな手応えを感じております。中部地方の「でらうまちゃんぽん」、関西地方にも拡大した「あんかけちゃんぽん」、沖縄の「軟骨ソーキちゃんぽん」など、ご当地ニーズを捉えた地区限定商品が地域主導で次々と誕生し、現場のモチベーション向上につながっています。

「とんかつ瀬かつ」につきましては、とんかつの美味しさと「安全・安心」な食材へのこだわり、おもてなしの心をお客さまに伝える施策に引き続き取り組んできました。8月からは毎月29日を「瀬かつの中食志向」の高まりに対応するため、冷めにくいお持ち帰り容器を新開発し、お弁当やオードブルなどにも力を入れています。

Q 人財・組織面について。

A **当社グループにとっても「働き方改革」は急務。**

職場環境の改善を進め、企業価値向上に努めます。

いま、かつてないほどに「働き方」が問いかれて

ています。量から質へ——働き方の構造改革による生産性の向上なくして、個人も、企業も、社会も豊かにはなりえません。「働き方改革」が成長戦略の柱といわれるゆえんです。

当社でも、当期よりリンガーハットの一部店舗で閉店時間30分前のオーダーストップを、2017年4月からは首都圏を中心に53店舗で営業時間の短縮を実施しました。これにより、安定的な人財確保と従業員のモチベーション向上を目指します。また、スキル豊富なベテラン人財がより活躍できる場を広げるために、正社員を対象とした「65歳定年」を今年3月より導入しました。この65歳定年制は、従業員301名以上の企業の導入率はまだ8%足らずですが、当社では、超高齢社会への備えとして必要と判断しました。また「生活と仕事の調和」という視点で公私ともに充実した人生を支援する「ライフワークバランスBOOK」を創刊し配布するなど、女性活躍推進に向けた環境整備の効果も、女性の退職率低下や女性店長の増加といった目に見える形で表れています。

当社では、今後も現状に甘んじることなく、より



株式会社リンガーハット
代表取締役社長

秋本英樹

魅力的な商品・店舗開発や働き方改革を通じた経営体質強化に取り組むことで、企業価値向上に努めてまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続き、当社グループへのご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。





長崎ちゃんぽん事業

RingerHut

おいしさ満足度の向上とともに
增收増益を達成

長崎ちゃんぽんリンガーハットについては、「おいしさ」のさらなる追求や新たな商品メニューの開発・展開に注力し、お客様によろこばれる商品提供を通じて、売上・利益率の向上に取り組みました。

商品施策では、夕方以降の時間帯の売上向上を目指し「夕食メニュー」を一部店舗において新たに導入し、「まるごとトマトの、野菜たっぷりチーズ鍋」や「ふかひれ姿煮あんかけチャーハン」、「がっつりセット」などを販売しました。また地域限定商品として、中部地方限定「でらうまちゃんぽん」、沖縄限定「軟骨ソーキちゃんぽん」を販売しました。また、8月からは「長崎ちゃんぽん」「長崎皿うどん」などの主要商品に希少な「国産のきくらげ」の導入を全店舗で開始し、これに合わせて「きくらげたっぷり塩ちゃんぽん」の販売も始めました。

これらの施策に加えて、新業態「バル」店舗の1号店を東京・新橋にオープンしたほか、おいしさ満足度向上を目指し、調理コンテストの実施などに取り組みました。

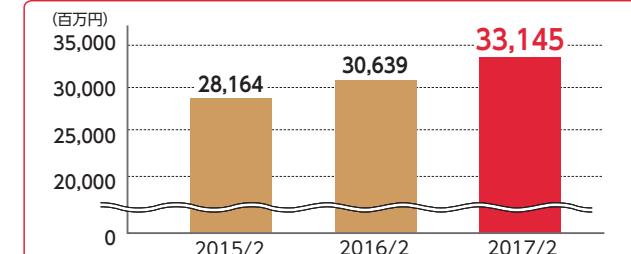
新規出店については、国内がショッピングセンターを中心に56店舗、海外ではインドネシア共和国・ジャカルタに1号店を出店しました。リロケートを含む退店は13店舗でした。この結果、当連結会計年度末の店舗数は644店舗（うちフランチャイズ店舗196店舗）となりました。

以上の結果、売上高は331億45百万円（前連結会計年度比8.2%増）、営業利益は26億58百万円（同38.3%増）と、增收増益となりました。

2017年2月期

売上高 33,145百万円
前年同期比 108.2%

▶売上高



国産きくらげ入り

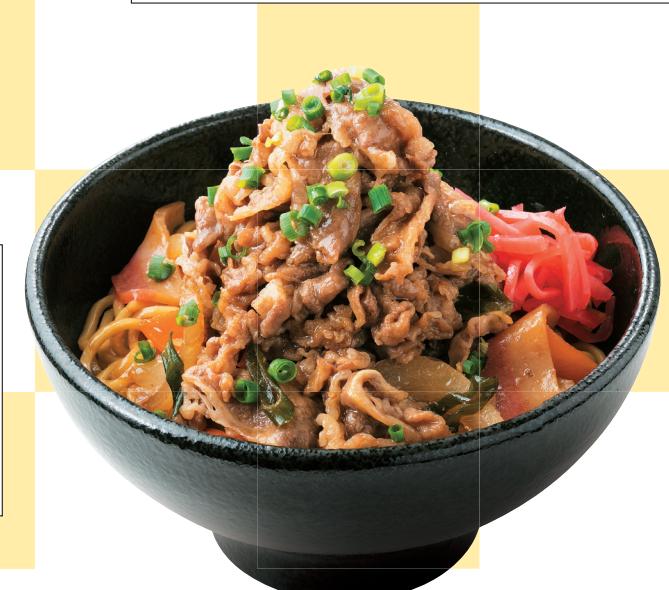
野菜たっぷりちゃんぽん
栄養たっぷりのきくらげが入った
野菜が**1食 480g**

2017年4月より全国販売開始！

牛・がっつりまぜめん

すきやき味の牛肉とちゃんぽん麺が
新感覚の絶妙マッチ

牛肉がっつり 150g





国産きくらげ入り
野菜たっぷりちゃんぽん



国産きくらげ入り
野菜たっぷり皿うどん



きくらげたっぷり
塩ちゃんぽん



まぜ辛めん



ぎょうざ



まるごとトマト鍋

12月1日より主要商品に使用する 国産コーンを国産豆苗に変更しました

リンガーハットグループでは、商品に使用する国産コーンのほぼ全量に、北海道産コーンを使用しています。2016年に北海道で起きた大規模な台風被害により、北海道産コーンの安定供給の確保が困難となつたため、コーンから豆苗への変更を決定しました。

リンガーハットグループでは、2009年以降取り組んでいる、「安全・安心な日本の野菜」を使うことへのこだわりを今後も守っていきます。外国産コーンは用いず、国産野菜で栄養豊富な豆苗を代替食材として使うことにしました。

豆苗の使用は2017年夏までを予定しており、北海道産コーンの供給が夏以降、順調に再開された場合、順次豆苗から国産コーンへと戻していく計画です。



豆苗／イメージ
豆苗はエンドウの若菜です

ASEAN 地域への 新規出店を拡大

タイ・香港に続き、インドネシア共和国・ジャカルタに2016年12月1日、台湾・台北南港に2017年4月1日、それぞれ現地1号店をオープンしました。

ジャカルタへの出店にあたっては、新たにチキンベースの商品を開発。豚を食べることを戒律で禁じているイスラム教の信者の方にも当社の商品の味と魅力を知っていただけるよう、取り組んでいます。

台北への出店にあたっては、現地の國立高雄餐旅大学とコラボレーションを実施。台湾の女子学生の協力を得て、現地の嗜好に合わせたローカルメニューを開発し、提供しています。



ジャカルタ店



台北店

2016年7月・10月 沖縄・関西・中京で 地域限定商品を発売

沖縄県では、沖縄の伝統料理「ソーキ（豚のあばら肉）」を使用し、味付けも現地の嗜好に合わせた「軟骨ソーキちゃんぽん」を販売し、中部エリアでは、名古屋の豆味噌と甜麺醤・豆板醤で作られる中京肉みそに、とんこつと八丁味噌のスープを合わせた「でらうまちゃんぽん」を販売しています。

また、もやし300グラムにあつあつの餡をかけた「あんかけちゃんぽん」もご好評いただいています。

地域の嗜好やニーズに合わせた限定商品をきっかけに、「長崎ちゃんぽん」の味と魅力を、より多くのお客さまへ伝えていくことを目指しています。



軟骨ソーキちゃんぽん



でらうまちゃんぽん



あんかけちゃんぽん



とんかつ事業

店舗オペレーションの改善と、客数・単価アップの施策を実施

とんかつ濱かつについては、「お客さまによろこばれる商品・サービスの提供」を目指し、新たな商品の開発やサービス品質の向上に取り組みました。

商品施策としては、定番季節商品の「かきふらい」シリーズ、「桜香るミルフィーユかつ」シリーズ、「梅しそ巻」シリーズのほか、店舗限定で「豪華海鮮ふらい」「チキンチーズかつ」「ローストビーフかつ」を販売。お好みのかつをプラスできる「おかわりかつ」や、お得な平日ランチメニューも継続しました。

販売促進施策としては、かきふらいメニューの販売開始と合わせてTVCMを放映しました。また、毎月29日には、お客さまにお得にかつを提供する『肉の日29%割』を2016年8月より開始しました。

お客さま満足度向上の取り組みとしては、繁忙期の店舗オペレーション円滑化のため、お盆提供の導入を推進し、その結果、お盆提供の実施店舗は8店舗増え、23店舗になりました。また、おかわりがしやすい「おかわりコーナー」を新たに4店舗で導入しました。

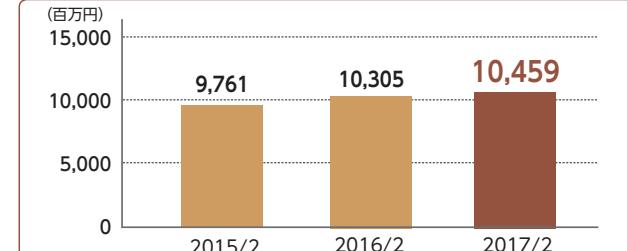
新規出店については、国内で2店舗を出店。リロケートを含む退店は2店舗。この結果、当連結会計年度末における店舗数は国内109店舗、海外2店舗の111店舗（うちフランチャイズ店舗18店舗）となりました。

以上の結果、売上高は104億59百万円（前連結会計年度比1.5%増）、営業利益は5億16百万円（同34.6%減）となりました。

2017年2月期

売上高 10,459百万円
前年同期比 101.5%

▶売上高



梅しそ巻とヒレ膳

梅しそ巻は、暑い夏にさっぱり食べられる一品。ヒレカツが付いた、ボリュームのある夏季限定商品



濱かつスペシャル定食

ロースかつ、ヒレかつ、オランダかつに大振りのエビフライが付いた人気メニュー



ロースかつ定食



ヒレかつ定食



オランダかつ定食



漬かつランチ



夏のわさびおろしつ膳（季節商品）



お子さまプレート

毎月29日に 「漬かつ29（肉）の日」を実施

漬かつの人気商品を特別価格で提供する、漬かつ の肉の日。お客様への日頃の感謝の意を込めて、 2016年8月にスタートし、以後毎月実施しています。 肉の日の実施日の来店客数は大幅に増加し、全体の来 店客数増加にもつながっています。

2017年4月以降は対象商品を変更し、価格設定を 変更した上で継続をしていく計画です。



テイクアウトの弁当容器をリニューアル 約30分は温かいまま召し上がれます

とんかつ漬かつでは、中食需要の高まりを受けて、 テイクアウト商品の販売強化に取り組んでいます。そ の取り組みの一環として、持ち帰りいただいたお弁当 を温かいまま召し上がっていただけるよう、弁当容器をリニューアルしました。

従来の容器よりも保温性に優れ、商品の受け渡し後、 約30分は温かさが持続します。

また2017年3月からは、この弁当容器の利便性を よりアピールするために、低価格帯も含めた新しいお 弁当メニューの販売を開始しました。



ロースかつとエビフライ弁当

漬かつ巻きを テイクアウト商品に追加しました

2016年9月より、「漬かつ巻」持ち帰り用の専用 容器をご用意し、テイクアウトでの提供を始めました。 節分の時期には、通常は8切れにカットして提供して いるところを、丸かじりできるよう1本仕立てとす ることで好評をいただいております。



漬かつ巻

新日本プロレスとコラボレーション VICTORY プレゼントキャンペーンを実施

かつを“勝つ（VICTORY）”と 結びつけ、「かつサンド（ヴィクト リーサンド）」、「漬かつ巻（ヴィクト リーロール）」の販促キャンペー ンを、新日本プロレスのオカダ・ カズチカ選手をイメージキャラク ターに迎えて、実施しました。



プロ体操選手として活動する 内村航平選手と所属契約を締結

株式会社リンガーハットは、日本初のプロ体操選手として活動を始めた、体操の内村航平選手と、2017年3月より2021年12月までの約5年間、所属契約を結びました。これは、リンガーハットグループとしても初となる、プロ選手との所属契約です。今後の所属契約期間中は、日本国内の大会にリンガーハットのロゴマーク入りユニフォームを着用して出場します。

リンガーハットグループは創業以来「地域社会の発展への貢献」を経営理念のひとつとして掲げ、長崎のスポーツ振興に協力してきました。長崎出身の内村航平選手の、子どもたちに体操の楽しさやすばらしさを伝え、体操の普及と発展を目指す考えに賛同し、力を合わせて取り組んでいきます。



リンガーハット所属後、今季初戦となった「第71回全日本体操競技選手権」において、個人総合10連覇を達成した、内村航平選手

株式の長期保有 優遇優待制度を導入

株主さまに長期にわたり当社株式を保有いただきための、長期保有優遇優待制度を2017年度より導入しました。毎年期末時点（2月末日）基準に年1回実施。3年以上の継続保有を対象に、所有株式数に応じて、株主優待券を通常の優待券枚数に加算して進呈します。

■対象

毎年2月末および8月末の株主名簿に「同一の株主番号」で、連続して7回以上記録された株主

■所有株式数と加算贈呈優待券枚数

100株以上、1,000株未満	2枚
1,000株以上	4枚



長期保有優遇の優待券は専用の封筒にて贈呈します。

食育活動をグループ店舗や 地区の小学校・公共施設で実施

リンガーハット・とんかつ濱かつでは、親子で調理の楽しさや「食」の大切さを学んでもらう食育活動を取り組んでいます。2016年度、リンガーハットでは3回、とんかつ濱かつでは6回実施し、多くの子どもたちや保護者の方々に、ちゃんぽんやかつサンドづくりなどを体験いただきました。



65歳定年の導入 営業時間短縮、サービスの機械化促進

2017年3月1日より「65歳定年」を導入。経験・技能に長けたシニア社員の能力を活かす場を広げ、本人の希望により働き続けられる機会を提供します。

グループ店舗の一部で先行導入していた「営業時間短縮」、閉店30分前オーダーストップを、2017年4月1日より首都圏の店舗を中心に実施を拡大。ランチタイムやディナータイムへの人員配置を手厚くし、より質の高いお客様サービスを提供するとともに、従業員の安定的な雇用確保やモチベーション向上を図ります。

生産性向上と従業員の負担軽減を目指し、おかわりをセルフ化する「自動ごはんおかわり機」などの導入を推進しています。

静岡県小山町のふるさと納税の返礼品に、 リンガーハットグループ共通商品券が 加わりました

税制を通じてふるさとに納税者が貢献できる仕組み「ふるさと納税」。寄付を受けた自治体が寄付をした納税者に贈る返礼品に、リンガーハットグループ共通商品券が加わりました。小山町はリンガーハット富士小山工場の所在地でもあり、地域活性化に貢献できることが期待されています。

■小山町ふるさと納税特設サイト

<http://furusato-oyama.jp/>



富士山と金太郎のまち おやま

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度 2017年2月28日現在	前連結会計年度 2016年2月29日現在	差異
資産の部			
流動資産	11,307	3,902	7,405
固定資産	21,885	21,925	△ 40
資産合計	33,192	25,828	7,364
負債の部			
流動負債	7,620	7,861	△ 241
固定負債	6,567	6,796	△ 229
負債合計	14,187	14,658	△ 471
純資産の部			
純資産合計	19,005	11,169	7,836
負債及び純資産合計	33,192	25,828	7,364

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ73億64百万円増加し331億92百万円となりました。これは主に、現金及び預金が71億95百万円増加したことによります。

負債は前連結会計年度末に比べ4億71百万円減少し、141億87百万円となりました。これは主に、社債が2億56百万円減少したことや、短期借入金が1億90百万円減少したこと及び長期借入金が4億7百万円減少したことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べ78億36百万円増加し190億5百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ14.1ポイント増加し57.3%となりました。これは主に、新株式の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ39億36百万円増加したことによります。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 2016年3月1日から 2017年2月28日	前連結会計年度 2015年3月1日から 2016年2月29日	差異
売上高*	43,844	41,129	2,715
売上原価	13,855	12,891	964
営業総利益	29,989	28,237	1,752
販売費及び一般管理費	26,705	25,403	1,302
営業利益	3,284	2,834	450
経常利益	3,158	2,681	477
親会社株主に帰属する当期純利益	1,620	1,271	349

*売上高にはその他の営業収入を含めています。

出店政策については、高知県への初進出により、出店地域を45都道府県まで拡大し、海外1店舗を含む計59店舗を新規出店しました。一方で、不採算店やリロケートにより15店舗を退店した結果、当連結会計年度末では、国内で743店舗、海外で12店舗、合計755店舗(内、フランチャイズ214店舗)となり、前連結会計年度比で44店舗の増加となりました。

売上高については、「国産きくらげ」導入などによる品質アップに伴う価格改定もあり、純既存店客数は前連結会計年度比で99.8%、純既存店売上高は前連結会計年度比101.8%となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は438億44百万円(前連結会計年度比6.6%増)、営業利益は32億84百万円(同15.9%増)、経常利益は31億58百万円(同17.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は16億20百万円(同27.4%増)と、3期連続で過去最高の売上高と利益額を更新しました。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 2016年3月1日から 2017年2月28日	前連結会計年度 2015年3月1日から 2016年2月29日	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,544	3,185	359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,614	△ 1,866	252
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,276	△ 1,491	6,767
現金及び現金同等物の期首残高	1,711	1,857	△ 146
現金及び現金同等物の期末残高	8,906	1,711	7,195

営業活動の結果得られた資金は35億44百万円(前連結会計年度比11.3%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2億48百万円増加したこと等によります。

投資活動の結果支出した資金は16億14百万円(同13.5%減)となりました。これは主に、設備投資に23億57百万円を支出したこと及び投資有価証券の売却収入が10億29百万円あったことなどによります。

財務活動の結果得られた資金は52億76百万円(前連結会計年度は14億91百万円の資金支出)となりました。これは主に、株式発行による収入78億29百万円によります。

以上の結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ71億95百万円増加し、89億6百万円となりました。

役員一覧

(2017年5月24日現在)



(後列左より)

社外監査役 山内 信俊	社外監査役 上野 守生	常勤監査役 内田 智明	執行役員 種川 浩之	執行役員 杉野 隆宏	執行役員 川内 辰雄	執行役員 岡野 弘明	リンガーハット開発(株) 代表取締役社長 山口 雅彦	リンガーフーズ(株) 代表取締役社長 鎌田 武紀	執行役員 山崎 繁樹	執行役員 井原 康晴	執行役員 中島 吉弘	リンガーハット ジャパン(株) 執行役員 熊 秋利	リンガーハット ジャパン(株) 執行役員 若杉 茂雄	浜勝(株) 執行役員 山岡 雄二	(株)ミヤタ 代表取締役社長 宮田 正一
----------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------------------------	--------------------------------	---------------	---------------	---------------	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------	----------------------------

(前列左より)

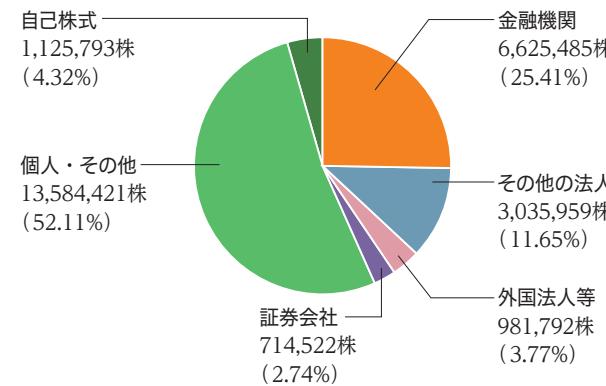
取締役最高顧問 (非常勤) 米濱 錦二	取締役(新任) 小田 昌広	取締役 福原 扶美勇	取締役副社長 前田 泰司	代表取締役 社長 秋本 英樹	代表取締役 会長兼CEO 米濱 和英	専務取締役 八幡 和幸	取締役 佐々野 諸延	社外取締役 川崎 享	社外取締役 金子 美智子
---------------------------	------------------	---------------	-----------------	----------------------	--------------------------	----------------	---------------	---------------	-----------------

株式について (2017年2月28日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
自己株式数	1,125,793株
発行済株式総数	26,067,972株
株主数	33,319名

所有者別分布状況



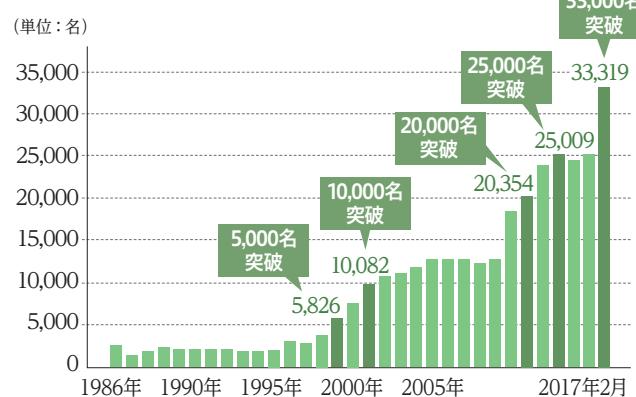
大株主一覧

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口4)	1,047	4.20
株式会社十八銀行	1,005	4.03
第一生命保険株式会社	630	2.52
公益財団法人米濱・リンガーハット財団	600	2.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	535	2.15
アサヒビール株式会社	528	2.11
メリルリンチ日本証券株式会社	396	1.59
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	385	1.54
株式会社福岡銀行	348	1.40
麒麟麦酒株式会社	333	1.33

* 大株主の持株比率は自己株式を控除して計算しています。

* 日本トラスティ・サービス信託銀行の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式です。
株式付与型 ESOP 信託導入に伴い、日本マスタートラスト信託銀行(株式付与型ESOP信託口)が取得、保有する当社株式86,806株は、自己株式には含めておりません。

総株主数



これまでの配当実績



株主優待について

毎年2月と8月の末日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまへ、お持ちの株数に応じて「食事ご優待券」を贈呈いたします。時期はそれぞれ5月末および11月末頃(年間2回)を予定しています。

上記「食事ご優待券」は、「リンガーハット」の店舗だけでなく「漬かつ」や「長崎卓袱浜勝」(長崎市)でもご利用いただけます。なお、お近くにご利用店舗がない株主さまには、「食事ご優待券」と引き換えに自社製品をお送りいたします(ただし、引き換えは優待券5枚以上、引き換える期間は6~9月、11~1月限定とさせていただきます)。

券売機店舗での「食事ご優待券」ご利用時には、食券をご購入される前に店員までお声かけください。



株主メモ

- 事業年度 毎年3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日 2月末日
中間配当金受領株主確定日 8月末日
定期株主総会 毎年5月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所(第1部)、福岡証券取引所 ※証券コード8200
単元株式数 100株
公告方法 電子公告によりこれを行います。但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して公告します。
※電子公告掲載アドレス
<http://www.ringerhut.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定※ ●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)

※ 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
●上記以外のお手続きやご照会	証券口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

リンガーハット オンラインショップ

国産きくらげ塩ちゃんぽん
新発売！



希少な国産きくらげが入った
あっさり塩コクスープ仕立てをお楽しみください！



●国産きくらげ
塩ちゃんぽん 3食セット
2,400円（税込）送料別途

特別セット販売中！
代引き手数料無料
送料無料

●国産きくらげ 塩ちゃんぽん 6食セット
3,980円（税込）

●国産きくらげ 塩ちゃんぽん 3食
野菜たっぷり
ちゃんぽん 3食 セット
3,980円（税込）
+ 生葉ドレッシング付

●国産きくらげ 塩ちゃんぽん 3食
長崎ちゃんぽん 4食
セット
3,980円（税込）

●国産きくらげ 塩ちゃんぽん 3食
長崎皿うどん 4食
セット
3,980円（税込）

ホームページで公開中

ちょい足し
の野菜レシピ

3ステップでちょっとおいしく
長崎ちゃんぽん・皿うどんに、
旬の野菜を“ちょい足し”して、
もっとおいしく楽しむレシピを紹
介。ぜひお試しください！

あざやかな緑色が食欲をそそるさやえん
どう。ちゃんぽんとの相性も抜群です。

会社概要

株式会社リンガーハット

会社名(英文名)

株式会社リンガーハット(RINGER HUT CO., LTD.)

設立

昭和45年6月13日(創業 昭和37年7月22日)

●資本金 9,002,762,834円

主な事業内容

長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、
とんかつ専門店「濱かつ」のチェーン展開

従業員数(連結ベース)

正社員／506名

リンガーメイト・スター(パートタイマー・アルバイト)／ *4,879名

*パートタイマー・アルバイトの人数は年間の平均人員
(1ヵ月165時間労働換算)で表示しております。

ご贈答に長崎の味「和華蘭」を

五島列島の名産品

かんころ餅

古くから副食として、また冬の保存食として五島列島で親しまれている「かんころ餅」。恵まれた自然の中で育てられたサツマイモを手間をかけて干しあげ、もち米と練り合わせた自然食品系スイーツとも言える逸品。ほのぼのとした自然の風味をお楽しみください。

<http://www.rhk-shopping.jp/>

※パッケージは予告なく変更する場合がございます。



ご注文方法



お電話で

0120-307-490

受付時間：平日9:00～17:00



インターネットで

リンガーハットオンラインショップ 検索



<http://www.rhk-shopping.jp/>

パソコン、スマートフォン、携帯電話からご利用いただけます。

・電話でのご注文の場合、お支払い方法はコンビニ振替か代金引換のみとなります。

・オンラインショップでは株主優待券はご利用いただけません。

●店舗数(全755店舗)(2017年2月28現在)

北海道・東北地方 21店舗

中国・四国地方 44店舗

関東地方 291店舗

九州・沖縄地方 253店舗

中部地方 73店舗

海外 12店舗

関西地方 61店舗

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。

UD
FONT